

◆ 今週のコメント

- ・ レジオネラ症(肺炎型)の報告が1例(男性, 30歳代)あり, 症状は発熱, 下痢です。推定感染地域は国内で, 推定感染経路は不明です。
- ・ アメーバ赤痢(腸管アメーバ症)の報告が1例(男性, 60歳代)あり, 症状は下痢, 腹痛, 発熱です。推定感染地域は国外(ベトナム)で, 推定感染経路は経口感染です。
- ・ 急性脳炎の報告が1例(男性, 10歳未満)あり, 症状は発熱, 意識障害です。推定感染地域は国内で, 推定病原体は不明です。本年の累積報告数は2例となっています。

◆ 今週のトピックス: <咽頭結膜熱>

- ・ 咽頭結膜熱の定点当たり報告数は, 0.56(23例)で前週と変わりありませんが, 過去5年の同時期と比較して最も多かった平成25年に次ぐ報告数となっています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 三類: 腸管出血性大腸菌感染症 2例【1月以降の累積報告数 6例】
- ・ 四類: レジオネラ症(肺炎型) 1例【1月以降の累積報告数 12例】
- ・ 五類: アメーバ赤痢(腸管アメーバ症) 1例【1月以降の累積報告数 9例】
- ・ 五類: 急性脳炎 1例【1月以降の累積報告数 2例】
- ・ 五類: 侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 24例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.12	8
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	5.78	237
	② 手足口病	3.51	144
	③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.78	73
	④ 突発性発しん	0.66	27
	⑤ 咽頭結膜熱	0.56	23
眼科	流行性角結膜炎	1.00	10

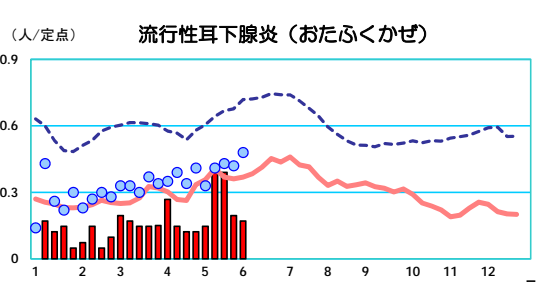
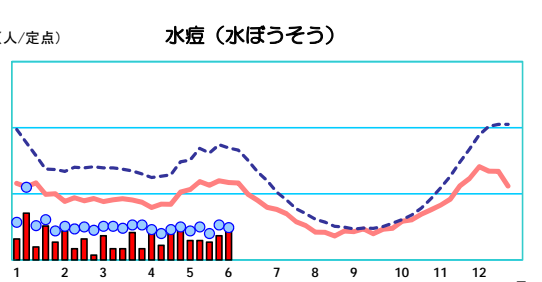
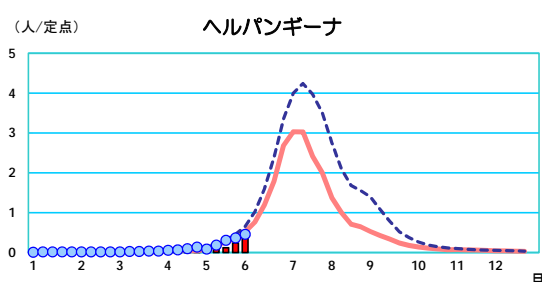
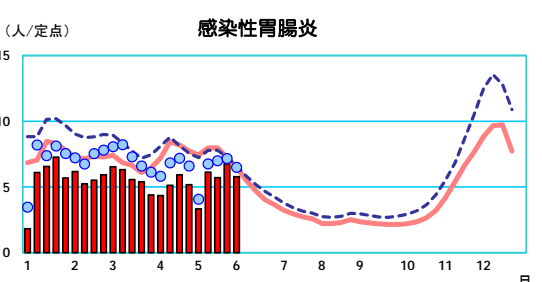
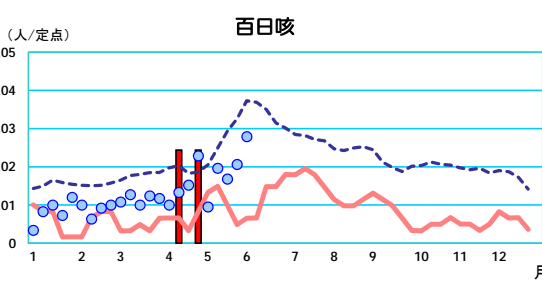
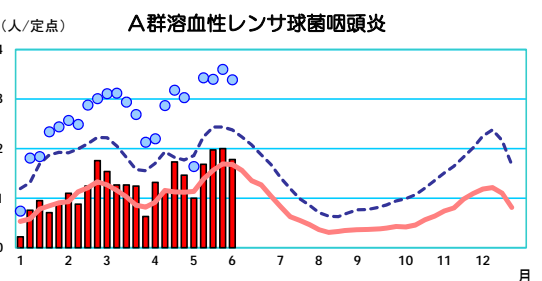
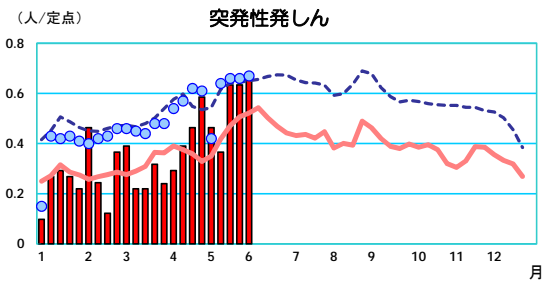
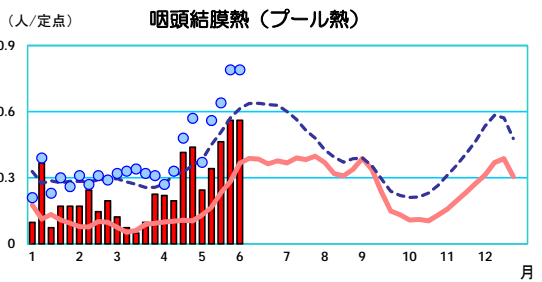
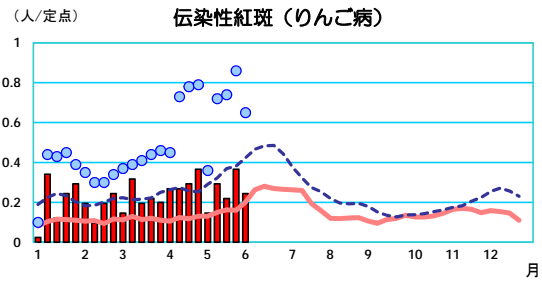
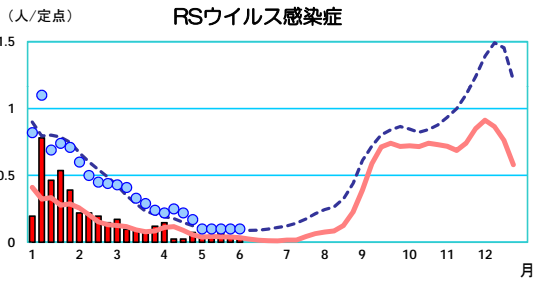
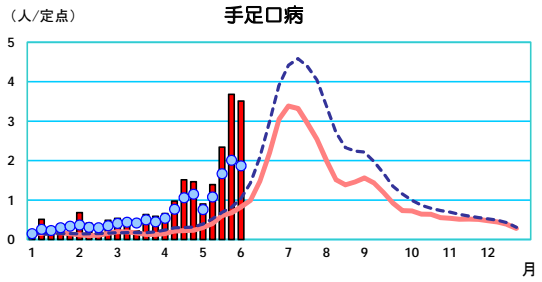
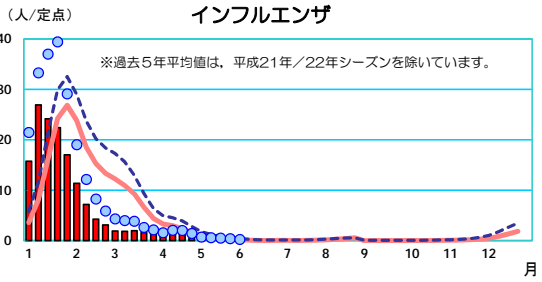
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <咽頭結膜熱>

付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは, 平成27年6月11日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成27年）



第23週(6月1日～6月7日)トピックス: <咽頭結膜熱>

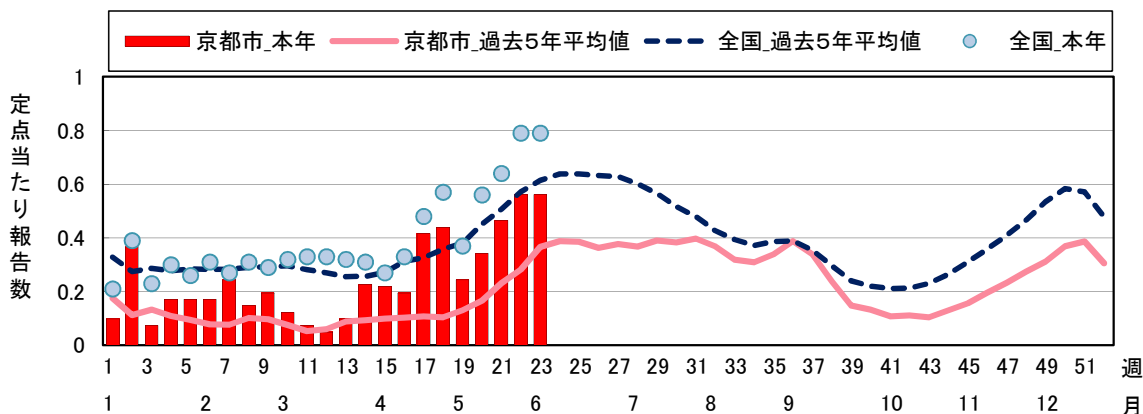
咽頭結膜熱の定点当たり報告数は、0.56(23例)で前週と変わりありませんが、過去5年の同時期と比較して最も多かった平成25年に次ぐ報告数となっています。

咽頭結膜熱は、例年、6月頃から徐々に増加しはじめ、7～8月に流行のピークを迎えますが、平成25年以降は5月頃から増加し始めています。また、昨年は一年を通して大半の週で過去5年平均値を超えており、過去10年間の年間定点当たり報告数と比べて最も報告数が多い年となりました。本年に入ってから、過去5年平均値を上回る状態が続いており、今後さらに報告数が増加する可能性がありますので、今後の発生状況にいつもの注意が必要です。

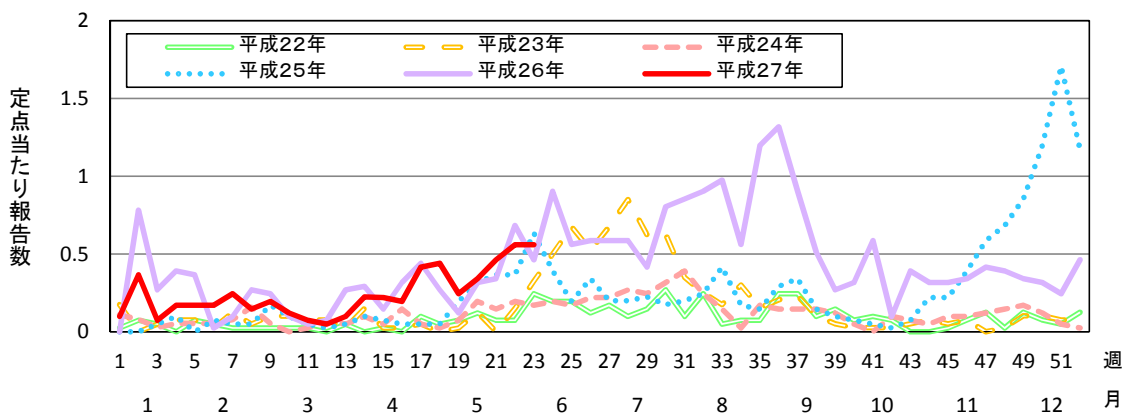
年齢階級別では、6歳以下の乳幼児が全報告数の90%以上を占め、特に2歳以下の割合が報告の過半数を超えています。今後の流行期を控え、小児の集団生活施設である保育所、幼稚園および小学校等で集団発生の可能性もありますので、十分に注意してください。

本疾患の原因となるアデノウイルスは、感染力が非常に強く、手指を介したり飛沫により感染するので、流水と石鹸による手洗いやうがいを行うことが重要です。また、色々な消毒剤に対して比較的高い抵抗性を持つウイルスですので、器具に対しては煮沸、次亜塩素酸ソーダが有効です。

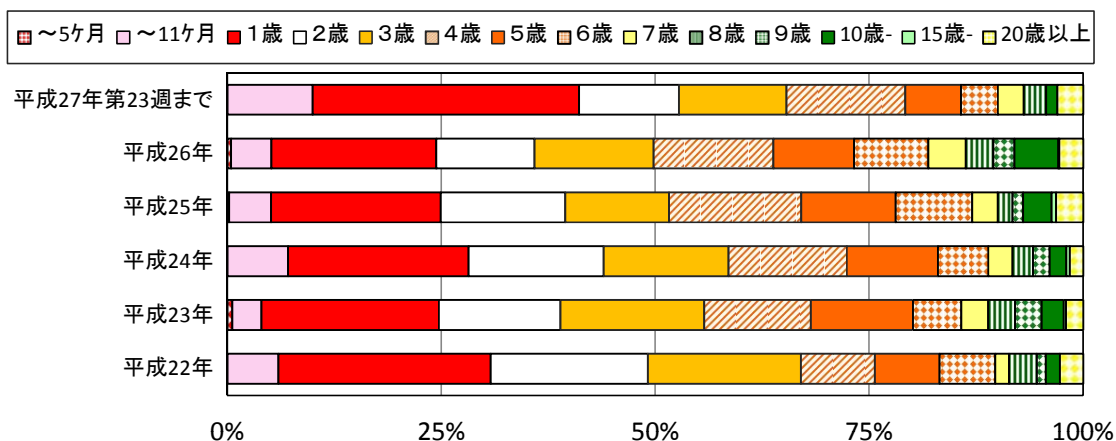
本市の定点当たり報告数の推移



本市の過去5年間との週別比較



本市の年齢階級別割合の推移



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第23週

疾病,行政区別報告数

平成27年6月1日～平成27年6月7日

データ入手日:平成27年6月11日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	1	-	1	4	5	-	6	-	1	-	-	-	-	1						
上京	-	-	2	4	11	1	2	1	2	-	2	-	-	3						
左京	-	-	4	16	41	-	21	1	4	-	3	-	-	-						
中京	-	1	-	3	4	3	7	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	1	19	-	3	-	-	-	1	1								
山科	-	-	2	4	3	1	14	1	3	-	-	-	-	1						
下京	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-								
南	1	-	-	4	22	1	2	-	2	-	10	-								
右京	1	-	9	19	44	3	36	2	4	-	-	1	-	4						
伏見	-	-	5	14	51	1	46	3	6	-	5	4	-	-						
西京	5	-	-	4	34	11	7	2	3	-	-	1	-	1						
京都市計	8	1	23	73	237	21	144	10	27	-	22	7	-	10	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	0.14	-	0.25	1.00	1.25	-	1.50	-	0.25	-	-	-	-	1.00						
上京	-	-	0.67	1.33	3.67	0.33	0.67	0.33	0.67	-	0.67	-	-	3.00						
左京	-	-	1.00	4.00	10.25	-	5.25	0.25	1.00	-	0.75	-	-	-						
中京	-	0.33	-	1.00	1.33	1.00	2.33	-	0.33	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	0.50	9.50	-	1.50	-	-	-	0.50	0.50								
山科	-	-	0.50	1.00	0.75	0.25	3.50	0.25	0.75	-	-	-	-	1.00						
下京	-	-	-	-	1.50	-	-	-	0.50	-	-	-								
南	0.20	-	-	1.33	7.33	0.33	0.67	-	0.67	-	3.33	-								
右京	0.13	-	1.80	3.80	8.80	0.60	7.20	0.40	0.80	-	-	0.20	-	4.00						
伏見	-	-	0.71	2.00	7.29	0.14	6.57	0.43	0.86	-	0.71	0.57	-	-						
西京	0.71	-	-	1.00	8.50	2.75	1.75	0.50	0.75	-	-	0.25	-	1.00						
京都市計	0.12	0.02	0.56	1.78	5.78	0.51	3.51	0.24	0.66	-	0.54	0.17	-	1.00	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第23週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成27年6月11日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	59	27	14	6	9	8
RSウイルス感染症	3	2	2	3	2	1
咽頭結膜熱	18	10	14	19	23	23
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	60	41	69	81	82	73
感染性胃腸炎	212	137	251	234	277	237
水痘	22	12	12	11	15	21
手足口病	60	37	57	96	151	144
伝染性紅斑	15	6	12	9	15	10
突発性発しん	24	19	15	26	26	27
百日咳	1	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	3	4	6	5	10	22
流行性耳下腺炎	5	6	16	16	8	7
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	3	-	6	2	3	10
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	485	301	474	508	621	583

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	0.87	0.40	0.21	0.09	0.13	0.12
RSウイルス感染症	0.07	0.05	0.05	0.07	0.05	0.02
咽頭結膜熱	0.44	0.24	0.34	0.46	0.56	0.56
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.46	1.00	1.68	1.98	2.00	1.78
感染性胃腸炎	5.17	3.34	6.12	5.71	6.76	5.78
水痘	0.54	0.29	0.29	0.27	0.37	0.51
手足口病	1.46	0.90	1.39	2.34	3.68	3.51
伝染性紅斑	0.37	0.15	0.29	0.22	0.37	0.24
突発性発しん	0.59	0.46	0.37	0.63	0.63	0.66
百日咳	0.02	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	0.07	0.10	0.15	0.12	0.24	0.54
流行性耳下腺炎	0.12	0.15	0.39	0.39	0.20	0.17
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.30	-	0.60	0.20	0.30	1.00
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	11.48	7.08	11.88	12.48	15.29	14.90

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。